

かがやき

2022年4月12日 発行
フランクフルト日本人国際学校
HP : <http://www.jjsf.de>
E-mail : info@jjsf.de
広報係第1号

義務教育9か年を見通し、学力の向上と豊かな心を
学校長 岩下 清彦

暖かな陽ざしがふりそそぎ、新緑の葉が目にも鮮やかな季節となりました。

新型コロナへの対応は続いているが、これまでの経験をもとに、徐々に様々な教育活動を再開、発展させていく一年にしたいと考えています。今年度もフランクフルト日本人国際学校の子どものために「授業づくり」「生活づくり」「人・組織づくり」を学校経営の柱とし、確かな学力の定着、ドイツでの生活を生かしたグローバル化に対応できる教育の充実に、教職員とともに全力で取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

さて、新たな出会いに胸躍る春。本年度は小学部30名、中学部14名の新生と各学年の編入生12名を迎え、本年度の児童生徒数は207名、14学級でスタートしました。また、教職員も新たに政府派遣教員4名が着任し、34名となりました。今年度も多くの人との関わりを深め、様々な学びや体験を通して日々の学校生活の充実とドイツならではの教育を実践するとともに、子どもたちが楽しく安心して通える学校となるよう努力していきます。

特に今年度は、学力の向上と豊かな心を育成する小中一貫教育という視点をもって、義務教育9か年を見通した系統性、継続性のある教育活動を推進していきます。これは、現在の教育を取り巻く状況への対応や小中学生が同じ校舎で学んでいる本校の特性を最大限に生かすという視点からの取組です。小学部における教科担任制や小中学部の乗り入れ授業を拡大させることにより、小学校高学年での専門的な指導の充実や、児童生徒のつまづきやすい学習内容についての長期的な視点に立ったきめ細かな指導などの学習指導の工夫を図ることができます。また、多様な教職員が指導にあたることによる興味・関心や個性伸長への対応につなげることもできます。さらには、多様な異学年交流の活発化、より多くの多様な教職員が児童生徒に関わることなどで教育活動の充実を図ることにより、思いやりやコミュニケーション力、リーダーシップ等の社会性を育成していこうと考えています。

この一年が子どもたちにとって、かけがえのない実り多い年になるよう、また、未来への大きな夢をはぐくむ確かな一歩となるように、今年度も学校教育目標「一生懸命学習しよう」「異なったものを認めよう」「豊かな心と感謝の気持ちを育てよう」「たくましい身体と心を作ろう」を目指し、本校教職員一丸となって教育活動を展開するとともに、学校と家庭が強く手を携えて教育活動を進めたいと考えています。年間どうぞよろしくお願いいたします。

4月: 卯月(うづき): APRIL

- 1 2 (火) 着任式・始業式・入学式
- 1 3 (水) 短縮午前授業(～19日)
昼食なし 小1のみ3時間授業
- 1 4 (木) 身体測定(1・4・5・中学部)
- 1 5 (金) Karfreitag(聖金曜日)
- 1 8 (月) Ostermontag(復活の月曜日)
- 1 9 (火) 身体測定(2・6年)
- 2 0 (水) 全校朝会
- 2 1 (木) 部活動紹介
1年生を迎える会(小学部)
- 2 2 (金) 前期児童生徒会役員選挙
- 2 5 (月) 小学部学年懇談会(～29日)
- 2 6 (火) 前期委員会
- 2 7 (水) 職員会議
- 2 8 (木) 春の遠足(小学部)
- 2 9 (金) 短縮日課 授業参観 全体会
中学部保護者会 中学部学級懇談会



5月: 皐月(さつき): MAI

- 1 (日) Tag der Arbeit
- 2 (月) 部活動(体験)
- 3 (火) 避難訓練(火災)
- 4 (水) 児童生徒朝会
- 5 (木) 部活動(体験)
- 6 (金) 前期委員会
- 9 (月) 部活動
- 1 2 (木) 部活動
- 1 3 (金) 児童生徒総会
- 1 6 (月) 部活動
- 1 8 (水) 避難訓練(不審者)
- 1 9 (木) 部活動
- 2 0 (金) 前期委員会
- 2 3 (月) 部活動 中間テスト
- 2 4 (火) 中間テスト ニッダウォーク
- 2 5 (水) 全校朝会 職員会議
- 2 6 (木) Christi Himmelfahrt(昇天祭)
- 2 7 (金) 移動可休日
- 3 0 (月) 部活動
- 3 1 (火) 第1回進路説明会(中学部)



予定は変更になることがあります。

